

広
報

びらとり

2012 年

8

No.617

撮影：船越光次氏（7/11）



合同山岳救助訓練（幌尻岳）

今月号は...

- 新たな介護サービス基盤整備の展望
- 町の取り組み
- 気象台防災豆知識
- まちの広場
- 教育委員会からのお知らせ
- すこやかだより
- 図書館へいこう・・・ほか

新たな介護サービス基盤整備の展望

◆介護施設を取り巻く状況

町は、介護サービス基盤の整備を進めるため、当初、特別養護老人ホーム平取かつら園（本町）に現在設置されているデイサービスセンターを切り離して、グループホームと併設する形で、旧荷負小学校を改修・再利用する計画を検討してきました。

しかし、デイサービスセンターに関する改修建設費に約1億5千万円もの費用がかかること、利用者が徐々に減少し、ピークだった平成22年春に比べ、現在は当時の8割程度となっていることから、移設すれば大きな運営赤字が発生する見込みとなったため、荷負自治会、デイサービスセンターを運営する社会福祉法人平取福祉会と協議の結果、デイサービスセンターは当面現状を維持して事業を継続することとなりました。

◆今後の予定

新たに単体で整備を計画しているグループホームは、平取町総合計画及び介護保険事業計画に基づき、旧振内営林署跡の町有地に建設する予定です。



旧振内営林署跡

～デイサービス（通所介護）～

介護保険に基づくサービスで、デイサービスセンターで食事・入浴などの介護や機能訓練が日帰り（自宅送迎）で受けられるものです。



平成22年4月に1カ月当たりのサービス提供件数がピークを数えましたが、デイサービスを利用する方の介護度の重度化やショートステイ（1カ月未満の短期入所生活介護）への移行などの理由から、利用者は減少に転じています。

～グループホーム～ （認知症対応型共同生活介護）



介護保険に基づく認知症高齢者が共同で生活できる住居で、家庭的な環境のもと、入浴・排泄・食事等の介護や支援、その他日常生活上の世話などを受けることにより、入所者が

その能力に応じた生活を営むことができるものです。個室と共同スペース等から成り、18名の定員で建設する計画です。

◆将来の方向性

町は、事業を担う民間業者を公募し、応募があった中から選定（8月中旬に決定）した開設運営事業者が来年3月までにグループホームを建設し、認知症高齢者の入所を募集して、平成25年度から事業を開始する予定となっています。

町民の皆様が負担する介護保険料が将来大きく増高しないよう十分勘案しながら、今後とも高齢化社会に対応するために必要な介護福祉施策を推進して参ります。

◆旧荷負小学校の活用

なお、旧荷負小学校施設の活用については、今一度、地元自治会及び関係する方々と十分に協議を重ね、地域の活性化につながるような用途をさぐっていく考えです。

町の取り組み

4～7月議会までに決定された補正予算について、

主な事業をお知らせします。

教育・文化の推進

1. 校務用備品購入 41万円
(一般財源 41万円)
校務用パソコンに係る追加アプリケーションの購入を行います。

2. 校舎修繕 210万円
(一般財源 210万円)
紫雲古津小学校の雨漏りを修繕します。(天窓・ガラスブロックコーキング)

3. 発掘調査委託経費 2050万円
(一般財源 0万円)
豊糠10遺跡「宿主別振内停車場線」の発掘調査委託を行います。



産業の振興

4. 林道修繕 280万円
(一般財源 280万円)
奥地林道敷内線で発生した、地すべり損傷個所の応急修繕を行います。

5. 現年発生災害復旧事業調査設計委託 1450万円
(一般財源 0万円)
奥地林道敷内線の復旧工事にかかる調査設計委託を行います。(延長61m)

6. 有害獣侵入防止柵整備 79372万円
(一般財源 22594万円)
有害獣侵入防止柵を単年度での一括設置を行います。

生活環境の向上

7. 情報通信基盤施設
支障移転 4294万円
(一般財源 4294万円)
町道貫気別アブリ線改良工事及び川向地区NTT柱廃止に伴い、支障のある光ケーブル柱を移転します。

8. 平取ダム建設促進期成会 50万円
(一般財源 50万円)
平取ダム早期完成等の要請行動を支援します。

9. 各地域活性化協議会支援 790万円
(一般財源 385万円)
沙流ユークラ街道活性化協議会、平取町地域活性化協議会に対し、国からの受託事業の円滑な遂行を図るための支援を行います。

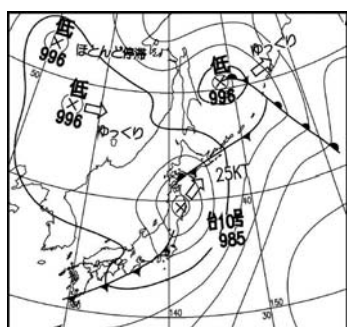
◎気象台防災豆知識シリーズ①

『大雨』

北海道では、北海道付近に停滞する前線に向かって暖かく湿った空気が入る時に大雨となり、台風が接近しているときはさらに雨量の多くなる場合があります。

大雨による災害は、崖崩れなどの土砂災害、河川のはん濫による洪水、低い土地の浸水などです。このため、天気が悪くなる前の早めの対応が重要です。また、雨が止んでも土砂災害や洪水の危険が残る場合がありますので、しばらくは注意してください。

平成15年8月には、北海道付近に前線が停滞する中で台



風第10号が北海道に上陸して、日高地方を中心に大雨となりました。この大雨で、崖崩れや河川のはん濫が発生したため、住宅の全壊・半壊が約50棟、床上・床下浸水は400棟以上の災害が発生し、6名の方が亡くなりました。気象台が発表する情報で大雨を予想しているときは、崖や川が近い、土地が低くなっているなど、お住まいの状況にあわせた避難が必要です。あらかじめ避難場所を確認してください。



まちの広場

（すずらのまち びらとり）

響け歌声。踊れ心のままに！

ウレクレク～アイヌL I V E（6/23）

道アイヌ協会平取支部青年部主催の「アイヌL I V E」が二風谷生活館で行われました。

今年は、地元バンドL I V Eも開催され、地域と若者が一体となって大いに盛り上がりました。

アイヌ・アート・プロジェクトL I V Eでは、アイヌ民族の伝統的音楽・楽器が現代音楽と融合された独創的なリズムと音色により、場内の雰囲気は最高潮を迎え、終盤になると、場内から一人二人と中央に集まり、大きな円になって踊りました。まだまだ物足りない様子でしたが、時間を忘れるほどの熱気に、L I V Eは大成功となりました。



みんなのお楽しみ！夏イベント

モンキーリバーランド夏まつり（7/2）

沙流川共和国主催のモンキーリバーランドが、ふれあいセンターびらとりで開催されました。

当日は雨模様のなか、櫻井幹也国王の開会宣言がなされると、すっかり雨も止み、多くの地域住民で賑わいました。

会場では様々な模擬店とアトラクション、ヤマベつかみどりに、子どもたちは大はしゃぎでした。

ストリートパフォーマー「弥勒」の水晶玉、バルーン実演の大道芸では、大人も一緒になって楽しみ、夏のイベントらしく爽やかな一日となりました。

命に触れる貴重な体験

小林組ミニ動物園（7/9）

今回で10回目を迎える1日ミニ動物園を、株式会社小林組が同社敷地内で開設し、約250人の子ども達が集まりました。

ヤギやフェレット、モルモット、ウサギ等普段触れることができない動物を目の前に、エサをあげたり、抱いたり、子ども達の笑みがこぼれていました。

体験コーナーで、アオダイショウを首に巻かれると、思わず硬直した顔になり、まわりの子ども達から大きな歓声があがっていました。



いざ幌尻岳へ。防災ヘリ出動!! 北海道防災航空隊合同山岳救助訓練 (7/11)

夏を迎え、幌尻岳周辺でも登山者の増加に伴い、救急・救助要請が毎年増加しています。

様々な要請に迅速・効率的に救助活動が行えるよう、北海道防災航空隊と平取消防との合同山岳救助訓練が実施されました。

道の防災ヘリが、けが人役の消防隊員を幌尻岳より救助、町民総合グラウンドに空中からロープで降ろし、連携を確認しました。



鳥が来る森づくりがスタート カーボンオフセットによる植樹祭 (7/13)

二風谷ファミリーランドを会場に、カーボンオフセットによる植樹祭が、ホームセンター大手のホームマックの社員と道、町関係者約40名の参加で開催されました。

再生紙ダンボールの紙枠でできた植樹用ポット「カミネッコ」を使用し、ヤナギやケヤキ、ハンノキ等5種類の苗木合計420本を、長い年月をかけて大きな森に育つようお願いながら植えました。

うまいぞ! 「ニシパの恋人ランチ」 紫雲古津小学校給食試食会 (7/19)

地元のおいしい食材を給食に使った「ニシパの恋人ランチ」が、町内の全小中学校で供されました。

献立は、地場産品のトマトのフレンチサラダ(トマトは農協より)、サイコロステーキ(畜産公社より)、平取産米の麦ごはん、びらとりメロンとチンゲン菜スープと、配膳時から喜ぶ声が聞こえました。

まるでレストランのランチメニューのような給食に、児童達は終始笑顔で食べていました。



✧ 全国大会出場おめでとう ✧



小山椎名さん 小山和馬さん 小林岳人さん 木村裕斗さん 木村有稀さん
(二風谷小6年) (二風谷小4年) (二風谷小6年) (二風谷小6年) (貫気別小6年)

全国大会への出場権を手にした5名の小学生が、町長室に表敬訪問しました。第47回全日本少年剣道錬成大会(団体戦)に出場し、小山椎名さんは同大会個人戦にも出場します。

川上町長より「猛暑でのたたかいになりますが、頂点を目指して頑張ってください」と激励を受け、選手たちは、「昨年よりも力を伸ばしての出場なので、目標は全国制覇!」と力強く抱負を述べました。全国大会でのご活躍を期待しています。

教育委員会からのお知らせ

理科が毎日あったらいいのになぁ !!

～平取小学校で5・6年生対象に移動理科教室開催～

7月12日、平取小学校では、北海道立教育研究所附属理科教育センターとの共同による「移動理科教室」が実施されました。

午前中は三つの班に分かれて、アンモナイト化石のレプリカ・葉脈標本のキーホルダー・指紋まで見える指の石膏模型づくりをはじめ、教室やサイエンスカーに乗り込んでの実験・観察と太陽電池&燃料電池のハイブリッドカー「クワガタ号」の運転を体験。

午後は全員で手回し発電でミニ水素燃料電池カーを走らせ、マイナス196度の液体窒素による数々の実験に目を見張り、驚きと歓声が沸き起こりました。

参加した53名の5・6年生からは「正直理科が苦手だったけど、今回の教室を通してとても好奇心が増しました」「授業をやって、理科が毎日あったらいいのになぁと思うようになりました。また機会があったらお願いします」など「楽しかった」「発見や不思議がたくさんあった」「もっと知りたい」等の声がたくさん寄せられました。

説明を聞き、額を寄せて相談する真剣なまなざしに、子どもたちの心に確実に『科学の芽』が育まれ、新たな気づきが生まれていることを実感させられる一日でした。



自分たちで発電したミニ燃料電池カーの
走行実験の様子

6種27名が中体連全道大会に出場

～敗退種目でも記憶に残る健闘～

6・7月に行われた中体連管内大会の結果、平取中学校から5種目（女子バスケ、柔道、卓球、羽球、陸上）21名、振内中学校から2種目（ソフトテニス、陸上）6名の計6種目27名が全道大会に駒を進め、7月24日には、昨年に続いての全国大会出場の期待を込めた激励会が行われました。

また、残念ながら管内大会で敗退はしたものの、サッカーでは、部員不足で最初から一人少ない10人で臨んだ平中チームが初戦で静内第三中に2-0と競り勝ち準決勝へ、また、女子バレーでも、振内中・平取中合同チームで決勝トーナメントに進出するという記憶に残る大健闘を見せてくれるなど、どの種目でも学校の代表として持てる力を存分に発揮してくれました。



選手を代表し挨拶する
振内中学校 五十嵐 宣弘さん

— 2学期に向かって応援できるために大人も中間反省を—

夏休みも終盤。手をつけずにいた宿題にあわてて取り掛かっている子を見て、つい口うるさくなってしまいがちですが、子どもたちが目を輝かせて2学期を迎えられるように、保護者としての夏休み中間反省をして体調や生活習慣を立て直す応援をしてあげましょう。

一つ目は「自ら取り組む規則正しい生活」起床時間を守り、日光を浴び、家族で朝食をとり、昼間は身体を動かし手伝いをし、夜はテレビ・ゲームに支配されず夜更かしをせず、決められた時間に寝てしっかり睡眠。

二つ目は「人や自然・地域と関わる活動」外に出て遊び、近所の人に挨拶し、地域行事等にも積極参加、一人きりで過ごさない。（集団生活回避は対人能力・学習意欲・表現力の低下の誘因）

子どもの行動を身近で見る夏休みの今、家庭内でも配慮できることは多くあります。



世界三大サーカスの一つ 木下大サーカス鑑賞

～わくわく感動体験ツアー～

創立 110 周年、89 年ぶりの札幌公演となる木下大サーカスを、7 月 14 日に 30 名が、北翔クロテック月寒ドームで鑑賞してきました。

サーカスの代名詞ともいえる空中ブランコショーでは、華麗なアクロバット技に魅了され、メインのホワイトライオンショーでは、大迫力なライオンの雄叫びに声を挙げて驚いていました。

また、愉快的なアメリカンピエロは、公演中に幾度となく登場し、観客を舞台に呼び公演に参加させ、2 時間の公演は歓声と拍手の中、あっという間に終了しました。



山の幸染め講座

～成人文化講座～

6 月 28 日、山の幸染めインストラクターの千葉真由美氏（札幌市在住）を講師に、10 名の参加者にて講座を開催しました。

山の幸染めは、身近な木の葉を利用し、カラーペーパーで布に染めていきます。葉の形をそのまま染めたり、葉の形を中抜きにしたり、思い思いの色を使いハンカチと巾着に染めました。

水を使わず、アイロンの熱で染められる方法に、参加者は、驚きながらも、真剣に取り組んでいました。



～各サークルを毎月シリーズで紹介します～

◆平取陶桂サークル

平取陶桂サークルは、新メンバーも増え、週 2 日作陶に励んでいます。開設当時からの会員である、梅木さんが、新会員に熱心に明るく楽しく、指導をしています。

世間話をしながらの、陶芸の時間は、あっという間に過ぎてしまうようです。

自分で作り上げたお皿など、「自宅で食卓に並べると、料理がより一層、おいしく感じます」とメンバーの感想です。今は、秋の文化祭にむけ、多くの作品を作っています。

活動日 毎週月・火曜日(9:00～12:00)

活動場所 陶芸室 中央公民館横(旧日高西部生活センター)

《会員募集中》 連絡先 梅木 カツエ (☎ 2-2220)

創立年	昭和 63 年 7 月
代表者	梅木 カツエ
会員数	18 名



教育委員会からのお知らせ

女子走り幅跳びで新記録!! ～第13回小学生陸上競技大会～

6月30日に町内の各小学校から約80人が参加し開催されました。

今年は走り幅跳び女子で互野愛結花さん（貫気別小6年生）が、これまでの記録を27年ぶりに4cm更新するなど、白熱した大会となり、出場した子どもたちは、たくさんの声援を受けて、日頃の練習の成果を発揮していました。



女子走り幅跳び／互野愛結花さん

フィールド種目	氏名	小学校名	記録
走り幅跳び 男子3年	藤井 恵太	振内	2.20m
	4年 渡邊 空知	振内	2.94m
	5年 水野 颯斗	紫雲古津	2.70m
	6年 及川 竜平	平取	3.38m
	藤本 朝陽	平取	3.38m
	藤江 悠乃	振内	2.47m
女子3年	川奈野 詩	振内	2.47m
	5年 北嶋穂乃実	平取	2.90m
大会新記録 6年 互野愛結花	貫気別		3.94m
ソフトボール投げ 共通男子	中川 佳祐	振内	50.00m
	共通女子 大塚 彩加	平取	24.07m

会場：平取中学校グラウンド

※各種目、1位のみ掲載

トラック種目	氏名	小学校名	記録
60m 1年男子	丸山 大翔	貫気別	12秒44
	女子 奥野 真央	平取	12秒69
	2年男子 北嶋 利隆	平取	11秒87
	女子 寺田皓眸何	振内	11秒44
	100m 3年男子 藤井 恵太	振内	19秒23
	女子 藤江 悠乃	振内	18秒38
4年男子	茶木 堅登	平取	17秒15
	女子 坂上木乃葉	平取	18秒86
	5年男子 綿貫 玲於	振内	16秒47
	女子 池川 琴胡	平取	16秒08
	6年男子 佐藤 菖	平取	16秒60
	女子 野間 夏葉	振内	15秒70
800m 共通男子	藤本 朝陽	平取	3分01秒32
	共通女子 森島 葵	平取	3分03秒73
200m リレー 男女共通 (1・2年)	森島 隼佑		
	安田連志朗	平取	
	芳野 佑馬		
	嶋田妃華莉		41秒89
400m リレー 共通男子 (3年以上)	及川 竜平		
	松永 優気	平取	
	佐藤 菖		
	藤本 朝陽		1分07秒22
400m リレー 共通女子 (3年以上)	田中 みゆ		
	野間 夏葉		
	草薙 雪乃	振内	
	草薙 小雪		1分06秒49
遠藤 丞			

スポーツサークル紹介

ふれなりテニポン部

- 創立年 昭和62年頃
- 部長 草薙 正志
- 活動日時 毎週月曜日
19:00～21:00
- 活動場所 振内青少年会館
- 対象者 年齢制限等なし
- 入部条件等
興味のある方はどなたでも入部してください。
- 会費 なし
- 連絡先 戸城 由佳 ☎ 3-3467

ふれなりテニポン部は細く長く続けているサークルです。現在、部員は少ないですが、テニポンの楽しさを知ってもらい、テニポンの輪を広げていきたいと思い、講師を招いての初心者教室を今年は3回行いました。

気軽に誰でもできるスポーツですので、ちょっと体を動かしてみたいと思う方はぜひ足を運んでみてください。



初心者教室

「民藝」を学ぶ ～博物館で行われた夏期学校～

6月29日(金)から7月1日(日)の3日間にかけて、博物館及びその周辺を会場として、日本民藝協会夏期学校が開催されました。

北は旭川、南は鹿児島と、全国の学校参加者42名が二風谷に集まりました。一般公開の事業として、多くの町民や町外からの参加者を含めた中で、賑やかに実施されました。

基調講演は、杉山亨司氏(日本民藝館学芸部長)による「柳宗悦と民藝」をテーマにお話しをして頂きました。主には民藝運動の概念とその経緯、創始者である柳宗悦について詳しく解説してもらいました。



杉山亨司氏による基調講演



アットゥシ制作の実演

また、地域のアイヌ工芸を学ぶ場として、町内在住のアイヌ工芸家による講話と実演も行われました。企業組合二風谷民芸を代表して、高野繁広さんには「イタ(お盆)」を、藤谷るみ子さんに「アットゥシ(樹皮衣)」の解説と制作実演をして頂きました。

普段、あまり見る機会のない実演ということもあり、参加者一同、興味津々で見入っていました。ものづくりの技巧を直接見たことで、二風谷の民芸品店からお土産を購入するきっかけになった方もいたようです。

夕食は、初日にびらとり温泉、翌日には博物館ポロチセを会場に、懇親会が行われました。

びらとり和牛やアイヌ料理など、地域食材を用いた創作料理を堪能しながら、木幡サチ子さんには、口承文芸を披露してもらったり、二風谷観光振興組合舞踊部会や企業組合二風谷民芸の方々との交流を楽しみました。

終了後のアンケートでは、「アイヌ工芸の技に感動した」、「料理がおいしかった」など、心のこもった言葉をたくさん頂きました。

生活道具の美を探究する方々と二風谷を結ぶきっかけとして、そして個性的な地域の姿を発信していく上でも、非常に有意義なひとときでもありました。

民藝運動について

柳宗悦(1889-1961)によって提唱された、無名の職人が作る日常品の美をさす概念。

今日にも受け継がれる「美と生活」を結ぶ生活文化運動(民藝運動)へとつながる思想です。

1926(大正15)年に始まった民藝運動の高まりは、アイヌの民具収集にも大きな影響を及ぼしました。1941(昭和16)年には、東京の日本民藝館で「杉山寿榮男蒐集 アイヌ民藝品大展観」という大規模な展覧会が開かれ、アイヌ工芸の美が一層注目されるようになりました。

民藝の提唱から80年以上を経た今日においても、活発な運動が展開され続けています。2011年の9月に東京で開催された柳宗悦没後50周年を記念した展示会は、その後、横浜、大阪、鳥取、広島を巡回して今年の7月8日まで継続開催されました。展示品の中には、一部アイヌ民具も含まれており、北海道の日常品にみる美を全国にアピールする機会にもなっています。

目指せ!!はつらつ健康 すこやかだより

ー保健福祉課ー

◇この秋からの予防接種の一部（ポリオ）が変わります。

世界には、今でもポリオが流行している地域があり、ポリオの根絶に向けて、ポリオワクチンの接種が行われています。予防にはポリオワクチンを接種することが唯一の方法となっています。

今年9月1日より経口生ポリオワクチン（飲む接種）から単独の不活化ポリオワクチン（注射による接種）に一斉に切り替わります。

日本では頻度は少ないですが、経口生ポリオワクチンを飲んだ人や保護者など周りの人に、副作用として小児麻痺が起こっていました。これらを防ぐため、9月1日から単独の不活化ポリオワクチンに切り替わります。

★経口生ポリオワクチンは、単独の不活化ポリオワクチン導入後の9月1日より定期接種から外れることとなります。そのため、町で実施することはできなくなります。
※日程等詳細は、対象者へ通知します。

■接種回数が変わります。

今まで、経口生ポリオワクチンは2回の接種でしたが、不活化ポリオワクチンは初回接種として20日以上の間隔を置いて3回、また追加接種として初回接種終了後6ヶ月以上の間隔を置いて1回、合計4回の接種が必要となります。

経口生ポリオワクチンを2回若しくは不活化ポリオワクチンを4回接種している方は接種の必要はありません。

経口生ポリオワクチンを1回以下若しくは不活化ポリオワクチンを3回以下接種している方は合計4回となるように不活化ポリオワクチンの接種が必要となります。

■対象年齢

初回接種年齢は、生後3ヶ月から12ヶ月に3回。

追加接種は1期初回接種（3回）終了後12月〜18月後に1回。

平取町では、期間を過ぎた場合でも生後48ヶ月（4歳）にいたるまでの間であれば接種ができます。



■接種期間

経口生ポリオワクチンによる定期接種は、春、秋に計4回実施していましたが、不活化ポリオワクチン導入後は通年での接種が可能となります。



■4種混合ワクチン

4種混合ワクチン（ジフテリア・百日せき・破傷風・不活化ポリオ）については、発売され次第導入することとなっています。

（11月の導入を予定）

4種混合ワクチンが導入されるまでは、単独の不活化ポリオワクチンと3種混合ワクチン（ジフテリア・百日せき・破傷風）を生後3ヶ月を過ぎたらできるだけ早く接種してください。

4種混合ワクチンの導入については後日ご案内いたします。

☆問合先

接種方法や期間などのご不明な点はお問合せください。
保健推進係 ☎ 4・6112

旬レシピ応募作品ー

振内町 斎藤美穂さん

『平取サラダ』

【材料】

- ・トマト
- ・キュウリ
- ・にんじん
- ・アスパラ
- ・レタス 適量
- ・牛肉または豚肉 200g



- ・ドレッシングA
- ・めんつゆ（希釈のもの） 大さじ4
- ・酢 大さじ1
- ・ゴマ油 大さじ1

- ・焼き肉たれB
- ・砂糖 大さじ1
- ・しょうゆ 大さじ1

【作り方】

1. アスパラ、にんじんは薄くスライスしてゆでておく。トマト、キュウリ、レタスは食べやすい大きさに切る。
2. 肉は食べやすい大きさに切り、炒め、火が通ったら焼き肉のたれBを入れからませ、全体に味が付いたら火を止める。
3. お皿に1の野菜をのせ、その上に2の肉をのせて、よく混ぜ合わせたドレッシングAをかける。
4. 焼きのりを4等分して、サラダを巻いて食べる。

図書館へいこう

平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00

○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。

TEL 4-6666

FAX 4-6871

✉ risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『最果てアークード』／小川洋子
『エリート of 転身』／高杉良
『歌え!多摩川高校合唱部』／本田有明
『ナンバー』／相場英雄
『起終点駅(ターミナル)』／桜木紫乃
『残月あそび』／村松友視
『おやじネコは縞模様』／群よう子
『箱庭旅団』／朱川湊人
『ももこのまんねん日記 2012』
／さくらももこ
『話虫干』／小路幸也
『暗転』／堂場舜一
『千年鬼』／西條奈加



【家庭・生活・趣味】

『色鮮やかに押し花づくり』／柳川昌子
『最強!涼野菜レシピ』／幸井俊高
『おいしい!かわいい!楽しい!「デコクッキー」』／下迫綾美
『フルーツがいっぱい!春夏秋冬クールデザート』／加藤千恵



【社会・経済・その他】

『体が硬い人のためのストレッチ』
／荒川裕志
『宇宙へ出張してきます』／古川聡
※芥川賞受賞作『冥土めぐり』(鹿島田真希)、直木賞受賞作『鍵のない夢を見る』(辻村深月)もあります。
ぜひ読んでみてください!



8月の休館日

6・13・20・27日

9月の休館日

3・10・17・18・22・24日



～としょかんトピックス～

北海道高等聾学校(小樽市)から、6月19日～22日までの4日間、堀江庸介さんを職場実習生として受入れました。

堀江さんには、図書館のさまざまな作業を手伝っていただき、特に本棚の掃除は根気がいる作業でしたが、一生懸命取り組んでもらいました。

また実習の後半では、トマトや牛肉などの平取町の物産品に関する本を探し、集めた本の展示をしました。堀江さん自ら色を塗った「びらとりのいちおし!」のタイトルが、展示された本を明るく元気にアピールしていたようです。堀江さん、お疲れ様でした。



図書ワゴン(移動図書館車)運行日程【9月】

6日(木)【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
11:30～12:00 貫気別生活館
13:15～13:45 芽生生活改善センター
14:00～14:30 旭生活館

7日(金)【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
13:15～13:45 岩知志ふれあい館
14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードなしでも、ご利用できます。
- 貸出期間は、次の巡回日までになります。
- 本の返却、不用になった本のご寄贈も受け付けます。



■幌尻まつり（7月29日）

櫓 の 実 俳 句

夏旺ん氷河で絶えし恐竜展
炎天下流れる唄や地引き網
故郷やあやめ咲いても無人駅
炎天下砂に寝る子の足長し
雷雨来て洗ひ上げたる六地藏
ゆとりなき心見すかし沙羅落つる
一と口と念押し孫の氷菓子
素裸で川泳ぎなど幼き日
手の平にぼろりと摘みしハスカップ
草刈機昼の懶さかき廻し
蜻蛉羽化抜けがらしかと葉を掴み

柴田 紫梢
吉野千佳女
中道 サト
西塔しずえ
清水 眞子
井内 青風
遠藤 紫光
渡辺 正子
内海アヤ子
石森 礼子
山崎 喜峰

町の人口	人 口	5,574	(▲ 2)
	男	2,694	(▲ 2)
	女	2,880	(0)
	世帯数	2,599	(0)
	外国人登録数	130	

() 内は前月比 7月末現在